

八頭町総合教育会議(第7回) 会議録

一. 日 時	令和2年12月24日(木)16:10~17:30
二. 場 所	船岡庁舎 2階 第2、3会議室
三. 出 席 者	吉田町長 木嶋総務課長 藪田教育長 山崎委員 加藤委員 大上委員 谷口委員
事 務 局	新田次長兼学校教育課長、奥平社会教育課長
書 記	学校教育課主任 前田

四. 議事日程

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名
3. 町長あいさつ
4. 協議事項
 - (1) 令和3年度当初予算の基本方針について
 - ・八頭町共通学力検査について
 - ・少人数学級協力金について
 - ・特別支援学級の支援員体制について
 - ・通級指導の充実について
 - ・非常勤講師(町雇用)の採用について
 - ・八頭高等学校生徒下宿費補助金について
 - ・八頭町県外優秀アスリート受入支援事業について
 - ・スポーツ指導員の継続配置について
 - (2) 不登校・いじめ防止対策について
 - (3) GIGA スクール構想について
 - ・ICT支援員の継続配置について
 - (4) コミュニティスクールについて
 - (5) 郡家西小学校大規模改修事業について
 - (6) 社会体育施設の維持管理(大規模な修繕等)について
 - (7) その他
 - ・第15回森下広一杯八頭町マラソン大会(記念大会)について
 - ・旧安部小学校改築後の運営について
5. その他
6. 閉会

— 会 議 の 経 過 —

1. 開 会 16:10

2. 会議録署名委員の指名

山崎教育委員 大上教育委員

3. 町長あいさつ

・昨日は中学生議会が開催されたが、中学校は新型コロナウイルスの影響で修学旅行も日帰りとなって残念なことだった。学習の面だけではなく、子ども達の心に残るものをサポートすることも私たちの仕事。成人式も延期となり、新型コロナウイルスの影響が多方面に出ている。

・総合教育会議は平成27年度から始まり、町長部局と教育行政の意思疎通を図るものだと認識している。来年度は郡家西小学校の大規模改修も控えている。教育委員の方とも一緒になって様々なことに取り組みたい。

4. 協議事項

(1) 令和3年度当初予算の基本方針について

① 八頭町共通学力検査について

・県が新しく学力・学習状況調査を行うことになった。教科は国語と算数のみ。向こう5年間程度しか県費で対応できないとのことなので、町は独自で行っている東京書籍の学力調査を引き続き行いたい。なお、今年度の全国学力学習状況調査は新型コロナウイルスの影響で全国一斉に行われなかったが、実施は可能だったため、八頭町は小学校だけ調査を行った。

・町独自の学力調査はグラフで経年変化が読み取れる。全体的には平均よりも上だが、中学校は特に英語が苦手だということが分かっている。また小学校4年生に課題があることも掴んでおり、指導に力を入れている。

② 少人数学級協力金について

・郡家東小学校と八頭中学校が該当している。1、2年生は県費で対応。

③ 特別支援学級の支援員体制について

④ 通級指導の充実について

・令和3年度の特別支援学級入級予定者は78名で、年々増加している。その中には、特別支援学校での教育が適当ではないかという子達も実際には含まれている。

中学校は24名だが、課題のある学年もある。

・子どものことを思えば特別支援学校が適だが、保護者の同意が得られなかったり、町内の学校を希望されることもある。通級指導は早い手当てによって良い効果が得られる。ただ、ほぼ定員いっぱいのため、今回は県の人事でもう1名加配を要望している。加配を置くことにより、各校へ出かけて通級指導を行える体制を作り、送迎がネックで学習ができないという状況を防ぎたい。指導によって状況が改善すれば、途中で退級する児童もいる。

(町長)町村会でも要望をしている。

⑤ 非常勤講師(町雇用)の採用について

・八頭中学校で特別支援学級の対応と併せて、中学校は数学に課題があることから、数学免許の保有者を1名非常勤講師として採用し、支援学級への対応をしてもらい、手が空いているときは数学の指導も行ってもらいたいと考えている。

(町長)1名の採用か。

(教育長)1名で考えている。

(次長)最長2年の雇用を考えている。

(町長)町単独の予算ということか。

(次長)岩美町も1名、町が単独で雇用されている。

(教育長)支援学級の生徒は24名もいる。色々な意味でサポートしてもらいたい。

(町長)重点指導は数学だけでいいのか。

(次長)それだけではないが、そこに力を入れたい。

(町長)人件費はどのぐらいになるのか。

(次長)人事と話をしたら月に266,100円くらいと聞いている。

⑥ 八頭高等学校生徒下宿費補助金について

・今年度から制度が始まり、8名が認定されている。来年度は3名卒業し、新たに8名が新規入学予定だが、入学試験が終わらないと決定しない。

(町長)県外アスリートとは別の制度か。住む所はどうしているのか。

(次長)これは選抜ではなくて、自らの意思で親元を離れて八頭高に通っている子ども達になる。のぶ旅館の跡地にできた男子寮や、民間のアパート等を探して入居している。来年度は保護者や兄と同居する可能性がある生徒もいるとのことで、下宿の捉えとして補助金の支給対象になるかどうか判断が必要。保護者負担を軽減する目的で対象としたいと考えている。

(町長)大きな金額でもないのでもいいのではないか。住所は動かさないのか。

(次長)県外は八頭町に住民票を移す要件をつけているが、県内は動かさなくてもいいことにしている。

⑦ 八頭町県外優秀アスリート受入支援事業について

・ホッケー競技限定で県外から優秀な生徒を受けて入れている。下宿先の調整がこれまでも課題だったが、今後はうどんのさとうの2階を改修し、1部屋を管理人室、9部屋を女子寮として使用する計画が出ている。

・令和3年度は7名分の予算。男女合わせて最大15名までの受け入れとする。町は一人当たり30万を補助する。

(町長) 県の費用負担はどれくらいか。

(教育長) 県は半額を負担する。

(町長) この制度の場合は住民票を移してもらっているのか。

(奥平課長) 住民票は移してもらっていると思っているが、確認してみる。

(町長) 生徒達は食事をどうしているのか。

(教育長) それぞれ違う。

(次長) 食事は下宿の世話をされている方に用意してもらっているが、対応できない時は近所の人に手伝ってもらうなど、仲間を作って面倒を見ているケースもあるようだ。

(教育長) 去年に保護者の方と会ったが、とても感謝をされていた。

(町長) 3年間町に住むのだから、卒業後も住みたいと言ってもらえたらいい。

(次長) 男子は分散で、女子は寮に住む形となる。

(教育長) 女子寮では管理人が食事を含めて面倒をみるらしい。共有のものは同窓会の費用で対応しようかという話になっているようだ。

⑧ スポーツ指導員の継続配置について

・加賀田指導員に引き続きお願いしたい。

(2) 不登校・いじめ防止対策について

① 令和元年度および令和2年度 児童生徒の不登校に関する調査

② 令和元年度および令和2年度 児童生徒の問題行動等に関する調査

③ 令和元年度および令和2年度 児童生徒のいじめの認知に関する調査

・中学校は現在の3年生で不登校8名となっている。1番多いときは全体で22名だったので、頑張って減らしてきたところ。SSWにお願いをして対応してもらっている。

④ やず教育支援センター「みどりヶ丘教室」の通級状況

・今年度は若桜町や智頭町からも通級している。体験をしている子を含めると現在は10名通っている。

(3) GIGA スクール構想について

・ICT支援員は財政から今年度限りと言われている。国が1/2補助をするGIGAスクールサポーターもあるが、学校における環境整備の初期対応をするだけなので、使い勝手が悪く支援員の方が良い。支援員なら1人1台端末が入ってから授業にも入ってもらえる。

(町長)ICT支援員は現在何人いるのか。

(次長)1人お願いしている。

(町長)支援員がいることに越したことはない。先生が大変なものわかる。国ももう少し考えてもらえたらいい。

(次長)交付税措置だといくらというのが見えてこない。

(町長)本当に来年度だけでいいのか。他の市町村よりは早く導入したと思っている。県下も徐々に入ってきている。

(委員)テストの集計なども今後入ってくる可能性がある。子ども達が機器を使いこなすためにも、指導員はいるのではないかと思う。

(次長)機器トラブルが起きれば先生1人の対応は難しい。サポーターはできる仕事が限られており、授業にも入れない。授業現場では使えない。

(木嶋課長)授業の中身の提案もできないだろう。

(次長)サポーターは機器の決まりや要綱を作成する。八頭町は案がすでにできている。

(町長)端末は持って帰れるのか。

(次長)日々の持ち帰りは想定していない。万が一長期休業などになった場合は緊急的な対応として考える。デジタル教科書の導入も将来的には考えられており、そうならばもしかしたら持ち帰りの可能性もある。

(委員)機器を使うとなるとやはり指導員は必要だ。

(木嶋課長)学校の教員のスキルをあげても、異動で町外に出てしまえば費用対効果がさがってしまう。県下全体のスキル向上の底上げを求めて欲しい。せめて同等レベルの職員を配置してほしい。

(教育長)県教委もGIGAスクールの前倒しで対応が間に合わず、十分な指標を示せていない。当然要請をしていく。

(4) コミュニティ・スクールについて

・先日、導入に向けた関係者説明会を行った。令和4年度の導入に向けて準備を進めていく。

(5) 郡家西小学校大規模改修事業について

- ・改修費は一括発注で7億円あまり。1工区と2工区に分けて工事を行う。郡家西地区公民館の下に現在の貯水槽があり、そこを改修するならば1ヶ月程度の断水になりかねないため、今回一緒に体育館横へ移設改修を行う。郡家西小ができた当時は南ヶ丘もなく上から水が取れなかったが、現在は水が取れるようになっている。
- ・プレハブの仮校舎は約3億で、改修費と合わせたらおよそ10億。身体に障がいがある児童が新しい教室やエレベーターを使うことなく卒業することがないよう、計画を立てている。

(町長) 財源はどうなっているか。

(次長) プレハブ校舎のリースには補助はない。改修費は国の補助がある。財産処分の基金が積んであるので、そちらをリースにあてるかどうか考えている。

(町長) 基金もあまりない。どのみち一般財源ということになる。

(次長) 新しく建てると20億はかかる。今の段階では新しくは建てられない。将来的な統合や児童数のこともある。20～30年後を見据えた改修になる。

(教育長) 国の補助も事前に言っていたよりも減額になる傾向にある。

(木嶋課長) そういう時のために国に返す費用を基金として積み立て、学校改修などの費用に充てることのできるとしている。

(6) 社会体育施設の維持管理(大規模な修繕等)について

・令和3年度予算として急ぐものをあげているが、すべてできるとは思っていない。まずは船岡トレーニングセンターのLED照明。屋根もかなり腐食しているので併せてやりたい。また、トレセンのトイレは浄化槽で、グラウンドはくみ取り式になっているため、新しく上下水道を繋げて作りたいと考えている。

・大御門体育センターの屋根改修も事業としては大きい。グラウンド用のトラクターも購入してから20年経ち、新たに購入したい。

(町長) 財源はどうなるか。

(奥平課長) 八東地域は過疎債が使えるが、その他は一般財源になる。

(町長) 大御門体育センターの屋根は修理した記憶がある。

(奥平課長) 前回直したのは増築部分の陸屋根だった。今回はアリーナ側の屋根の修理になる。

(町長) すべて一般財源は厳しい。

(教育長) いずれにしても一気にはできない。

(7) その他

- ・第15回森下広一杯八頭町マラソン大会(記念大会)について
- ・旧安部小学校改築後の運営について

5. その他

(木嶋課長) 文部科学省が35人学級に移行していく旨を発表したが、それを受けて県がどういった対応をするのか情報があれば教えて欲しい。

(教育長) 県はいきなり35人学級にはせず、段階を踏んでいく方針のようだ。完成形は35人だが、教員と教室の確保について問題がある。

(木嶋課長) 協力金も統合により10年前よりはかなり安くなったが、動向に注意してもらいたい。

6. 閉 会 17:30